

第2回

女性建築技術者の会 2025年連続講座

災害時のトイレについて考える

阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震、能登半島地震 など、近年、日本は多くの災害に見舞われています。その度に最大の問題となるのは、災害時のトイレです。災害時に必要なものと言えば、飲料水や食料をイメージする方も多いですが、実は最初に必要になるのはトイレです。いくら災害時とはいえ、排泄を我慢することはできません。2025年連続講座では、生活に必須のトイレに 焦点を集めて、第二回は災害時のトイレについてお話しをしていただきます。

7月5日（土）

時間

14:00~16:30

会場

としまち研会議室 (NPO 都市住宅とまちづくり研究会)
千代田区神田東松下町33 番地 COMS HOUSE 2F

会費

会員：1500 円 会員外：2000 円 学生…500 円



講師 加藤篤氏

*特定非営利活動法人日本トイレ研究所代表理事

1972 年、愛知県生まれ。まちづくりのシンクタンクを経て、現職。災害時のトイレ・衛生調査の実施、小学校のトイレ空間改善、小学校教諭等を対象にした研修会、子どもたちにトイレやうんちの大切さを伝える出前授業などを展開している。「災害時トイレ衛生管理講習会」を開催し、災害時にも安心して行けるトイレ環境づくりに向けた人材育成に取り組んでいる。

第一部 14:10~15:30 『災害時のトイレについて考える』 加藤篤氏

第二部 15:40~16:00 防災トイレの紹介

第二部 16:00~16:50 先輩に聞く 竹岡美智子さん(アトリエ雲代表)

Google フォームよりお申込みください
<https://forms.gle/TdvR1iEocWbntdRB7>

★申込み締切り 6/28

※Google フォームが使えない方は下記アドレス宛にメール送信ください

✉ jogikai@k6.dion.ne.jp

